



こんにちは

白子の議会

です

第96号

平成22年5月15日

編集発行

白子町議会

☎ 0475 (33) 2111



東京行直行バス

第1回定例会

平成22年第1回定例会が3月8日から3月16日まで開催されました。
一般質問は2名の議員が町政を質しました。

一 般 質 問	2～3ページ
21年度補正予算に対する質疑・応答	4ページ
22年度予算に対する質疑・応答	5～6ページ
22年度予算に対する賛成討論・反対討論	7～8ページ

一 般 質 問

町政をきく

今回の一般質問は2名が登壇し、地域公共交通問題、介護、福祉、などについて質しました。

道の駅建設と南白亀川の青ノリ
不作の件について

酒井良信議員

議員 昨年の三月議会で一般質問しました結果、準備委員会ができ、予算五十万円つきました。調査報告につきまして伺います。

まだ方向性が出ない

町長 現在のところまだ方向性が出ていません。

「オライはすぬま」風土村「くりもと」の道の駅を調査いたしました。順調な運営をしておりました。運営母体がいかりしていることと、生産者の意欲があり、協調性があることでないかと思っています。県内では、香取市に新しい施設が、オーブンすると聞きますが、補助金がなくなってしまう、過剰な投資をせずに白子らしさを出せる施設にすることをあきらめずに検討していきたいと思っています。

議員 一の宮町では、道の駅計画は県有地の借入

が困難で中断してありますが、白子町は観光地であり、農産物、海産物に恵まれています。町民の間では道の駅設立を強く希望している人は多数おります。砂ぶろで有名でございまして、廃止になり、アクアセクターのかわりになる、スポットが必要だと考えますが。

町長 道の駅構想の件ですけれど、実はいろいろな声、要するに「つくつたらいいではないか」との声が事実であります。地元のホテル、観光協会、ホテル組合の皆さんと会議を開きましたところ、慎重にやる必要があると意見が出ました。費用対効果を考えますと農産物あるいは海産物を含めた直売的なものから始めるのがよいではないかと私自身は思っております。



青ノリ不作について

議員 年々温暖化により青ノリの付着時期がずれておりますが、正月に入りまして、ノリが伸び始めましたが、なぜか二、三日のうちに腐ってしまいました。これは温暖化とか生活排水によるものではないと思われます。コンクリートのあく水ではないかと思えますので調査願います。

細心の注意を払う

町長 南白亀川特産の青ノリは、この地域の正月料理に欠くことのできない食材といたしまして古くから栽培されております。不作の一つがカキの影響と言われたわけですが、県にお願ひして、何年か除去してもらい幾らか改善したと聞いてます。

昨年の暮れは、収穫ゼロであり、大変残念に思っております。内谷川、新川の工事が施工されますが、原因の判断は難しいところでありまして、今後、細心の注意を払うように、工事業者へ申し入れをしたところであります。

生活排水について

議員 南白亀川の水質はBランクです。ランクとしては悪くないですが、茂原、大網の生活排水がたくさん流れてきます。特にリン酸が多めです。で流域委員会の活動について伺います。

適正に排水されている

町長 南白亀川本線において毎月実施しており、千葉県の水質検査、町の検査においては、特別大きな変化がなく、横ばいの状態であります。

各市町においては公共下水道、農業集落排水、コミニティ、プラントが普及しており、適正に排水されていると思います。今後もしきれいな川づくりを推進してまいります。



ます。

介護保険

認定方法変更で軽度

市川隆子議員

議員 昨年四月、介護保険の認定制度が改正され、給付を受けられない非該当は、全国的に変更前の三倍近くになりました。十月に見直しがありました。が、町の実態を伺います。

半年間は経過措置

町長 昨年、四月から九月までの更新申請者に限り、新方式の認定結果が従前の結果と異なった場合は、事前の申し出により従前の介護度と同じ認定結果にする措置がとられました。

認定方法変更の趣旨は、認定の判定が全国どこでも標準化され、公平・適切なサービスが受けられるシステムを目指しているものです。



特別障害者

認定の周知を

議員 六十五歳以上で、障害者手帳を交付された人と同程度の障害があると認定された人は、所得税法で特別障害者として税の控除が受けられます。これは、市町村長の認定が必要ですが、周知されない認定者も少なくあります。町の認定状況を伺います。

漏れ落ちのないよう配慮

町長 この制度は、所得税申告の所得控除に利用する証明書を発行することを目的としています。平成十八年の制度施行以来、年々利用者が減少しており、周知方法の改善も含め、漏れ落ちのないように配慮していき

いと思っています。

保育所給食は

議員 保育所は、子どもの年齢や発達に応じた給食を提供しています。

現在、構造改革特区に認定された自治体で給食の外部搬入が実施されていますが、全国展開が容認されても町では実施すべきではないと考えますが見解を伺います。

外部委託しない

町長 保育所の給食については、今後も食育を考慮して外部委託はせず、なるべく地元産の食材を使い、保育所の給食を提供していきたいと思っています。



白潟保育所の園児たち

国保税

申請減免を

議員 町の国保加入世帯の平均所得は約百四十八万円です。ここから国保税や他の税等も支払うとどのように生計を立てていくのか深刻です。所得の低かった人には、申請減免の基準をつくり対応すべきではないかと思いますが考えを伺います。

公平・相互扶助を貫く

町長 公平を旨として運営し、相互扶助の精神は貫きとおさなくてはならないと思っています。

しかし、国で検討されている非自発的失業者への軽減措置は、給与所得者限定のため平等性が保たれていません。農漁業や自営業者が、収入減となっても失業していない人は対象外なので、これらを補う制度の検討は必要だと考えています。



就学援助制度の周知を

議員 就学援助制度は、所得制限がありますが、小・中学生のいる家庭なら対象になります。町ではどのような方法で周知されているのか伺います。

入学説明会で保護者に

町長 就学援助制度は、町の広報、ホームページ、入学時の学校説明会等でも、学校から直接保護者に概要を説明しております。

町からの年間支給額は、小学生で四万三千円、中学生で五万二千元です。



白潟小の生徒たち

平成21年度補正予算に 対する質疑・応答について



白子中学校

【鈴木正美議員】

議員 繰越明許費とは、当年度に予算・事業・資金の計画があつて何かの理由で執行できなく次年度にそのまま繰り越す事だと思ひますが、総務費から教育費まで今年は五億三千三百四十二万八千円あります。ホームペー

運動場改築工事に約四億円、何か特別な理由があるのか伺います。
町長 一般的には手違いなり工事遅れで繰り越しますが、今年は政権交代があり国の予算が一月に決まり景気対策の為、国から次年度でも良いとの事です。ホームページです。リースするよりシステムを買い取ったほうが長い目で見ると割安になるためです。



【齋藤鉄也議員】

議員 入札業者が決定した様ですが見積設計と落札した金額を、どのように対応したか伺います。

生涯学習課長 設計額は当初予算三千六百九十九万一千円です。入札結果は契約額が二千八百三十九万一千円で、明許繰越額の三千二百三十八万一千円の内訳は、契約額と工事の管理費として頂く金額が三百九十九万、合計で三千二百三十八万一千円です。



南白亀小屋内運動場

議員 管理費というものは入札価格に含まれるものではないか。詳細な説明を求めます。

町長 公共事業の場合は全く別の会社でやる事が前提で、ある個別の会社が設計発注し他の建築業者がそれを施工、工事と管理が別々に行われることが道義的だと思つてます。

【宗島慶明議員】

議員 商工業振興費の小企業設備改善資金利子補給事業が百三万九千円減額補正しています。今の時代設備投資できないのが現状だと思ひますが、今のままで良いのか使い勝手を良くして取り組みを変えるときにきています。見解を伺います。

町長 使い勝手とかそういうものに制約を加えているわけではなく、気楽に相談に来て欲しいです。お金を貸す貸さないは金融機関とのやり取りですので早い景気回復を願います。



白子町商工会

平成22年度予算に対する 質疑・応答について

【今関勝巳議員】

議員 六月から支給される子供手当の対象者は何名いるか、またいつから準備に入るか伺います。

住民課長 子供手当の支給対象者は、今回ゼロ歳から中学生まで千三百七十五名を考えております。支給事務ですが、繰越明許費を設定していただきましてのでさっそく取りかかっております。

議員 大変期待をしている方が多いと思いますのですぐにスタートしていただきたいと思っています。

議員 五十年ぶりにチリ津波が発生し各地に被害をもたらしました。南白亀川堤防の整備について伺います。

町長 この間も要望を出して県の南白亀川流域委員会としても河川の整備でかさ上げをするか、少し幅を広げてかさ上げするか検討し最優先でお願いしております。右岸左岸なしで安全にしていきたいです。



【齋藤鉄也議員】

議員 第一、第二、第三とあるが第三の使用件数が一番少ないと思います。現在の何%か。また、年間の赤字はどのくらいなのか伺います。

環境課長 第三クリーンセンターの接続者件数は三百七十七で七十%位です。年間の赤字は、その時の修理費によって変動はありますが大きな機械の修理が発生した時、かなりの金額になってしまふ場合もありおおむね三千万円ぐらいの赤字が、毎年出ている様な状況です。

議員 行政も小まめに接続の推進を計り、無駄な赤字の解消に考慮、努力し一生懸命がんばってほしいと思います。

議員 今年度の車両購入の必要性について伺います。

町長 第二公用車、ワゴン車の老朽が十五年以上も年数が経っており、有利な制度を利用しての買い替えます。

【北田頼光議員】

議員 全員協議会で町内における地籍調査の説明がありました。豊かな未来をめざして地籍を進めるまちづくりについて伺います。

町長 これは必要な事業だと思っております。

やるつもりで県の方にも推進のために手を挙げております。

いろいろな公立の補助や交付税措置などを少しずつ手がけながら十年位の工程が考えられますが、スタートする際はあらゆる方向から議論をしながら進めていかなければと考えています。

議員 現状とメリットの大きさを考慮していただき、地籍の土地境界をめぐる未来へのトラブルの未然防止など行政側からも解決に努力してほしいと思います。

町長 前向きにやる方向で進めていきます。



【三橋吉辰議員】

議員 防災無線の予算が前年度と比べ減額になっていること、又防災無線放送が聞こえにくい地域・聞こえ過ぎる所の配慮について伺います。

町長 昨年は、防災無線の機械の更新による予算削減されたことになっております。

防災無線が聞こえにくい地域に対しては個別受信機を町が「三万円負担」して提供しています。聞こえ過ぎていたり、色々ありますけれども、地域や個人的な感覚も色々ありますので、調整は難しいところですが、個別の対応をしていきたいと思っています。



防災行政無線

【市川隆子議員】

議員 バス路線運行補助金を出していますが、利用者は増えていません。対策をとっているのか伺います。

町長 今の便数は最低限維持していきたいと思えます。高校生の利用を呼びかけるため、高校を訪ねてお知らせしています。

議員 小規模特養とグループホームが建設されますが、地域密着型なので町民が優先的に入所できるのか伺います。

町長 地域密着型で地元の人を優先することになっていますので、建設されれば待機者の緩和はできると思っています。

議員 乳幼児医療の助成は、県が小学三年生まで実施する方向だと言われていますが、町も準じて実施するのか伺います。

町長 県が十二月以降に実施するというので、無料化は賛成ではありませんが、基本的には県に準じた対応をしていくという考えを持っています。

【河野豊議員】

議員 高速バス利用促進補助金はどうのように使われているのか伺います。

町長 昨年六月から東京駅まで高速バスが開通いたしました。お客の利便性を図る為に町が支援する予算です。

中里に駐車場や待合所を建てたり、奨励策として、PRすることの支援策としての予算等もあります。



議員 高速バス運行が始まったことは、住民からは非常に評判がよいが、運行上に問題が発生しています。出発点が中里駐車場で帰りは小湊車庫になっている、起点、終点は同一であるよう改善をお願いします。

町長 駐車場が中里に来ますので、東京行十便全部中里駐車場まで延ばすことを要望してあります。六月のダイヤ改正のとき対応するお話がありました。再度要望いたします。

【宗島慶明議員】

議員 災害対策事業に三十二万九千円とありますが、一般のチリ津波の時、山武郡までは避難勧告指示が出されました。白子・長生・一宮には出ませんでした。判断基準はどうなっているのか、又各自治会の防災組織とはどのように対応したのか伺います。

町長 長生郡内の三町村は出しませんでした。五十年前のチリ津波の時はハワイ島の津波の高さが十メートル位あったそうですが、今回一メートルということと南白亀川河口の様子、自治会の防災組織と連絡をとりあい消防団にも巡回してもらい総合的に判断した。



南白亀川の河口

【大多和正之議員】

議員 101号線が間もなく完成しますが、バスの運行の状況をお聞きます。



町長 路線バスに関しては、本納線、大網線が赤字でそれを補てんせざるをえない状況ですので、101号のバス運行は今のところ見通しが立っていません。

議員 負担金という形でお金を出しているが、実際に余り活動していないところに負担金を出すのはいかがなものか？

町長 不要なものではないものの取捨選択は常にしているつもりですが、存続するか廃止するか議論がされると思いますが、前年踏襲で何も議論せずに予算を組んでないので、仕分けではありませんが、選別的なものとしてはしております。

【板倉正道議員】

議員 ホテル組合、商工会、農家の活性化の切り札と期待される、道の駅直売所構想は町の英断でうまく進められるのか、伺います。

町長 直売所的なものからスタートして行くのがベターだと考えています。



道の駅（おらい蓮沼）

議員 白子らしさを前面に出し特徴のある直売所を是非完成される様強く望みます。

町長 町が直接掲揚することは不可能ですが、施設を作る側と運営する側をはっきり区分けをしながらか進められれば最良かと思っています。

平成22年度予算に対する 賛成討論・反対討論

【一般会計反対討論】

市川隆子議員

町では、遅れていた学校の耐震補強工事や町独自の若年層健康審査や独自の子育て支援、通学路の整備などいろいろな事業をしております。このことに対しては、評価をしたいと思いますが、乳幼児医療の無料化については、他の子育て支援の用に使われ、独自の制度はつくっておりません。元気な子供に育てたいと思っても病気になるってしまった時にはこの制度は非常に助かると思います。

限られた予算ではありますが、総合的に支援してこそ充実した予算と言えるのではないのでしょうか。また、買い物サービス事業は、町民から利用しにくいという声が出されており車は、駐車されたままで。高齢者の要望は、買い物、医療、金融関係です。

この事業だけでは、限界もあり地域交通も視野に入れていかなければならないと思います。以上

のことから、本予算には反対するものです。

【賛成討論】

齊藤豊彦議員

予算総額三十八億七千三百万円の一般会計予算は、厳しい財政状況の中、健全な執行が求められております。

歳入面では、景気低迷の中で地方交付税は増額されたものの町税の大幅な減少で不安定な状況の続く歳入予算であると思われまます。

一方、歳出面では、多様化する住民ニーズに対し第四次総合計画のもとに沿った歳出予算である。このような状況下で、平成二十二年度一般会計歳入・歳出予算は、健全財政に配慮しつつ中長期的な財政見通しのものに限られた財源を真に必要な施策に優先的かつ重要な点に配分するなど広範囲にわたる町政の重要課題に適切に対処されており町民の理解は十分得られる予算編成と考え評価し賛成するものであります。

【国民健康保険 特別会計反対討論】

市川隆子議員

国民健康保険の加入世帯は、高齢者も増え、世帯所得も低く、大変な重税感を持っておりまます。所得が低くなっているにも関わらず保険料は高くなり結果、支払いが困難になり滞納者も増えてくる。国保税が高くなった原因は、医療費の増加、国庫負担率の引き下げです。

国保財政を健全に存続させていくためにも国庫負担を元に戻すよう繰り返し要望し、低所得者に対してでも申請による減免制度も整備すべきです。このことを求め反対討論といたします。

【賛成討論】

河野豊議員

国民健康保険制度は、国民皆保険を支える医療保険制度として重要な役割を担い、地域医療の確保と住民の健康保持、推進に大きく貢献しているところ です。

一方医療費保険制度を

取り巻く情勢は少子高齢化疾病構造の変化医療施設の整備等により医療費は年々増加し、さらに制度改革の一環として後期高齢者制度の施行、退職被保険者制度の廃止、特定健診、特定保健指導の実施等々目まぐるしく変化しております。

しかしながら、相互扶助の立場から本予算は事業の現状を踏まえ被保険者健康を守り、安心して医療を受けられるよう計上されておりよって本案に賛成するものです。

【後期高齢者事業特別 会計予算反対討論】

市川隆子議員

この制度は、保険料を年金天引きされ、多くの批判がでてまいりましたが、口座振替との選択制になりました。所得の低い方には軽減措置もとられるようになりました。しかし、この制度は医療にも制限があり保険料は二年ごとに改定され医療費と七十五歳以上の人口増加に伴って上がる仕組みです。四月の改定によ

り保険料は、値上げされています。加入者への医療抑制につながり負担増となるこの制度は廃止すべきです。このことを求め反対討論いたします。

【賛成討論】

三橋吉辰議員

従来の老人保険制度は、老人医療が増大する中、現役世代と高齢者世代の負担の不公平さが指摘されておりました。平成二十年度から始まった後期高齢者医療制度は、この負担を明確にし、高齢者の医療を国民全体で支えるための制度であります。しかし、現政権下においては、この制度を平成二十四年まで存続させ、平成二十五年度から新しい高齢者医療制度を創設させることとしておりますが、現在、本制度は被保険者にもかなり浸透しており、順調に運営されております。この制度の運営は、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っておりませんが、この特別会計は法律に基づいて町が行うべき業務に関連した

予算であり、被保険者の健康を守り、安心して医療を受けられるよう計上されております。

よって、本案に賛成するものであります。



【介護保険事業特別会計予算反対討論】

市川隆子議員

高齢者は保険料負担に加え、サービスが必要になれば利用料負担があります。所得の低い人は利用を抑制したりしています。

一割の利用料は、負担能力によってではなく、利用に応じて負担が増えます。この制度は、社会のため働いてきた高齢者が介護を必要としたとき社会が支えるという制度です。サービスの必要ない人が誰でも安心して利用できるようにしなければなりません。そのためにも、国庫負担を増やすよう要望し低所得者に対する減免制度をつくること

を求め反対討論とします。

【賛成討論】

北田頼光議員

高齢化が年々上昇している本町において、増加していく高齢者の生活を支える施策展開していることは、行政に課せられた最大の使命である。特に介護保険制度は図らずも要介護状態などとなった高齢者やその家族が日常生活を営むために必要不可欠な社会保障制度としてひろく定着し国民生活を支える社会保障制度として広く定着し、本町でも多くの町民が制度を利用しているところであります。本予算案は昨年策定した「ひまわり長寿プラン」に基づき地域の高齢者の生活を支えるための施設整備や、新たな地域支援事業施策を盛り込むなど、本町における高齢者の生活支援の根幹を担うものであり、また、基金繰入金を千七百万円余り計上するなど介護保険料の負担軽減にも配慮されていると評価できますので、賛成いたします。

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

二〇一〇年度予算が三月二十四日参院本会議で与党三党賛成多数の可決、成立した。一般会計総額は九十二兆二千九百九十二億円と過去最大。子供手当や農家の戸別所得補償、高校授業料実質無償化等、新規事業に加え、社会保障費の自然増などで歳出は膨らんだ。

歳出増に伴い、新規国債発行額は過去最高の四十四兆三千三十億円になってしまった。

一方新政権の目玉である事業仕分けにより、どれだけの無駄が省けるのか、又普天間の米軍基地問題等、新政権による政治手腕が求められている。

いよいよ今七月の参院選日本の将来を見つめ直す大事な選挙戦である。今こそ政治に関心を持ち国民一人一人が責任を持って一票を投じたいものだ。

板倉 正道

